

中国国内旅行②
上海を訪ねて

豊田美紀

中国国内旅行②～上海を訪ねて

豊田美紀

5月になりました。日本では元号が「令和」となり新たな時代の幕開けを迎えました。近頃ここ太原では朝晩と日中の寒暖差が20度くらいあり、昼間は早くも真夏日の気候です。この気候を思うと大陸の内陸部で暮らしているということを実感する今日この頃です。部屋にエアコンが無いので7月まで熱中症など不安です。体調管理が必須ですね。

さて、5月1日は中国では「労働節」でした。このタイミングに合わせて4日間お休みがありました。代わりに前後の日曜日が出勤日となり6連続勤務が2回ありましたので実質的には2日間のお休みと同じでした。

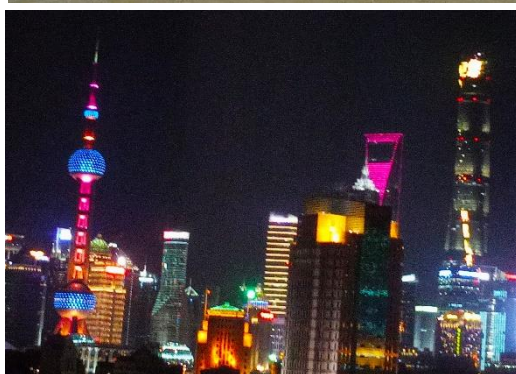
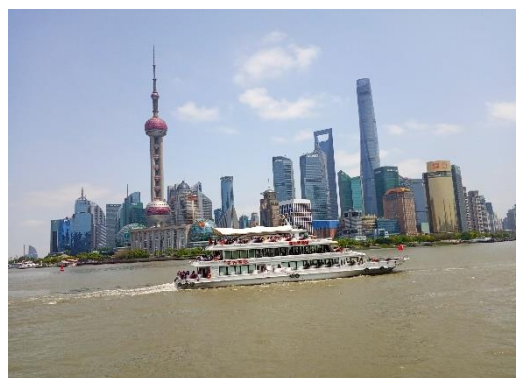
このお休み期間を利用して、私は久しぶりに上海を訪ねました。躍動し続けるこの国際都市はいつ訪れても何度訪ねても私を魅了します。

動きの速い街で、仕事目線でもプライベート目線でも上海は本当に面白いです。私は自由気儘(じゆうきまま)に上海の街を散策することが好きで今回もお馴染みの地下鉄2号線沿い南京路をぶらりと散策してきました。

上海を訪れたことのある方は多いかと思いますが、皆さんもご存知かと思いますが、上海は中国最大の国際都市です。上海は、第二次世界大戦前には欧米列強や日本などが占領地をめぐる駆け引きを繰り返していた場所です。当時はアジアで最も魅力的、かつ危険な魔都といわれておりました。列強の租界地としても発展していました。1949年の中華人民共和国建国後、中国の経済復興を牽引し、1980年代以降の改革開放政策の中で急速にその地位を高めていった場所です。上海は租界地の古さと、経済発展による新しさを内包している特異な都市といえる場所です。



上海はいつ訪ねても沢山の観光客で賑わっています。観光名所も沢山あります。上海最大の観光ポイントは近代上海を象徴する外灘(がいたん)です。地下鉄2号線の南京東駅が最寄り駅となります。租界時代の高層建築物が並ぶ黄浦江西岸の一带を指します。対岸の浦東や黄浦公園から眺める美しい欧風様式の建築群は壮観です。夜になるとこれらの建築物がライトアップされて幻想的な雰囲気に包まれます。また、対岸には浦東の夜景を望むことができます。夜になると外灘遊歩道は更に観光客で賑わいます。また、もうひとつおすすめなのが、黄浦江の遊覧船です。遊覧船に乗って浦東の景色を眺めることも楽しいですね。今回私は浦東の夜景が部屋から見える外灘にホテルをとりましたので部屋からのんびりと浦東の夜景を満喫しました。自分へのご褒美とも言える至福の一時でした。



さて、地下鉄2号線は虹橋空港から南京路そして浦東空港まで通じている路線ですが、今回私は地下鉄2号線沿いの南京東路の歩行者天国だけを歩きました。南京西路は省略しました。南京路は100年以上前から栄える上海一の繁華街です。外灘と静安寺を東西に結んでいます。

この地下鉄2号線に乗って南京路東駅から虹橋空港方面に向かうと静安寺という佛教寺院があります。今回も静安寺を参拝してきました。静安寺の創建は三国時代の公元247年(三国东吴赤乌十年)です。1760年以上の歴史がある寺院といわれています。境内には山門、鐘楼、観音殿、大雄宝殿、法堂、静安佛塔などがあります。近代的な高層ビルが建ち並ぶ中に静安寺は建っています。大都会上海ですが、この空間に佇んでいるときだけは都会の雑踏を忘れて心も鎮まり穏やかになるものです。



後期クラスもいよいよ終盤戦です。先日、友人が自国の料理をご馳走して下さるとのことで友人宅を訪ねました。とても美味なお料理を頂きました。ルームシェアだという友人宅はとても快適な空間でした。同じ太原市とは思えな



いくらい環境が整った部屋でした。私も今更ながら自分で部屋を借りるべきだったと後悔しています。生活空間が整っていたらこの留学の悩みや苦勞が半減したのでは？と、ふと思い悲しくなりました。残りの時間で語学力も目標域に到達できるよう尽力します。